

がんばれ! 中小企業!! シリーズ 七転八起

【第46回】

省エネ支援とともに 再エネ普及に貢献

脱炭素化支援(株) 代表取締役 松島 康浩氏

中小企業が事業に臨む際、必ずぶつかってしまう「壁」。技術、資金、販路など課題は山積。解決の糸口に辿り着くまでにフォーカスしたシリーズ「七転八起」。第46回目はエネルギーコンサルタントとして独立、省エネ支援とともに自ら再エネに挑戦、2年前に社名を変更、脱炭素を掲げ、温暖化防止に意欲を燃やす松島康浩社長に話を聞いた。

エネルギーで独立したことは 自然な流れ

——大学院(修士)を修了後、船舶の発電用機関の設計に携わりました。

松島 本当はコジェネがやりたかったんです。でも、船舶のエンジンがメインの仕事でコジェネ部門には配属されませんでした。

——エネルギー管理士の資格を取りました。

松島 理由は自己啓発ですが、エネルギー管理士を選んだのはエネルギーに興味があったからです。資格を活用し、ESCO事業に転職しました。そこではこれまでにない達成感がありました。インバーター・廃熱回収・照明など、いろいろ工夫し、数値が下がると、お客さんが喜んでくれましたし、上司からも評価されました。ただ、経営が厳しくなり、親会社に吸収され、ESCO事業から撤退することになりました。この時の5年間の経験がいまの土台になっています。

——2010年にエネルギーコンサルタントとして独立しました。

松島 先ほども言いましたが、エネルギーに興味があり、エネルギーの仕事で独立したの



松島康浩社長

は自然な流れでした。実は、高校生のとき、本屋にいて、停電になったんです。パッと非常灯が点いて、そのとき、「電気って大事なんだなあ」と思いました。それがエネルギーを意識するようになったきっかけです。それと実家が自動車の修理販売業をやっていて、子どもの頃から独立しようと思っていました。妻から反対されるかと思いましたが、賛成はしないが、反対もされなかったのが、ありがたかったですね。

——独立当初は。

松島 見込み客はほぼゼロ、最初の1年は会社の資金が減る一方でこの先どうなるか、ハラハラドキドキという感じで。少しでも経費を節減しようとしてカプセルホテルに泊まりました。私自身、営業は得意なほうではなく、自社のHPに省エネ関連の情報を掲載していたので、それを更新し続けていました。やがてメールや電話が来るようになり、仕事につながり

ました。省エネ補助金の申請支援は成功報酬ですが、国の予算が削られたり、審査が厳しくなったり、その時々で状況が変わります。ある年、申請した9件のうち1件しか採択されなかったときはきつかったですね。

——うれしかったことは。

松島 お客さまの省エネが実現してCO₂が削減できたときです。自社で所有する再エネ発電所が発電した際もそうですが、CO₂削減が実感できると、励みになります。仕事の活力源になっています。

——なぜ自ら太陽光発電所を。

松島 温暖化防止のため、一人でもできることをやろうと思ったんです。でも、資金集めは大変でした。名古屋市内のすべての金融機関にお願いしましたが、ほとんど断られて。それでもあきらめず、あたり続けました。現在、太陽光発電所8カ所、風力発電所1カ所を運営しています。

——(一社)全国エネルギー管理士連盟の設立に関わりました。

松島 技術士や弁護士には団体があるのに、エネルギー管理士にはなかったんですね。私が起業する以前はあったようですが、それなら自分でつくろうと思ったんです。正直、エネルギー管理士の社会的地位は高くありません。そうした状況を変えるために活動しています。

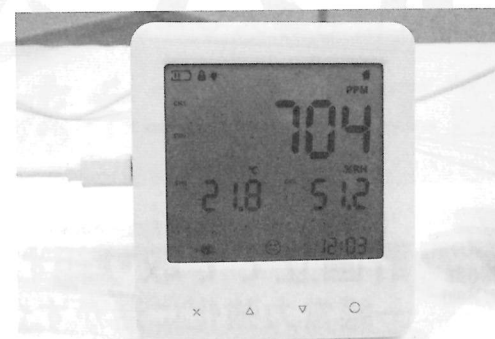
再エネ発電所の所有を増やしたい

——「低炭素化支援株式会社」から「脱炭素化支援株式会社」に社名を変更されました。

松島 それまでの、CO₂を「ちょっと減らせばいい」という感覚ではだめだと感じていました。20年以上前ですが、京都議定書の報道でエネルギーが環境に影響を与えていることにショックを受けました。その意味で、エネルギー問題は環境問題でもあり、地球温暖化に強い関心を持っています。

——コロナ禍で対応も。

松島 9月から、換気の注意喚起サービス「注意換気」を始めました。換気不足による新型コロナウイルスなどの感染症拡大、CO₂濃度上



換気状態を見える化するCO₂モニター

昇による人体への影響など、適切な換気ができないことのデメリットは非常に大きく、重要な課題です。CO₂モニターによる換気状態の見える化に加え、エネルギー管理士・建築設備士のアドバイスにより感染症対策と省エネ対策の両立を実現したいと思っています。

——今後の抱負を。

松島 自家消費型の太陽光発電やバイオマス燃料の普及など、再エネ発電所の所有を増やしたいですね。とはいえ、年商の3倍近い借金があり、金融機関から、これ以上借りられないと言われていました。また、最近、風力発電所が機械の故障で動かなくなり、メーカーが海外なので部品交換に時間がかかりそうで悩ましいところです。日々さまざまなことに直面しますが、今日までやってこられました。これからも、何があろうと、ひるむことなく前に進みます。

●事業の歩み

2010年	設立
2018年	同社初の太陽光発電所「脱炭素エナジー菟野81.0」が発電開始
2020年	換気の注意喚起サービス「注意換気」提供開始

(会社概要)

所在地:愛知県名古屋市
資本金:250万円
従業員:37人(エネルギー管理士35人)
業務内容:改正省エネ法対応支援、省エネ再エネ補助金活用支援など
スローガン:温暖化リスクを逆手にとり、企業の持続的發展を!